

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース

まちファン

44号

2025年3月15日

2024年度中間発表会



2024年度の助成団体が事業の進捗を報告する「中間発表会」を行いました。参加者のみなさんは、自分の団体の発表だけでなく他の団体の発表にも熱心に耳を傾けており、手元のふせんには他団体への感想や意見、質問等がたくさん書かれていました。アンケートには、活動のモチベーションアップにつながったという声も上がっていました。

◎まちづくりはじめての一步コース 上限 10万円

Q2 「児童と保護者、学校、地域住民によるアカウミガメの飼育」

カレッタ (高知市立春野西小学校保護者及び地域住民の有志)

小学校でのウミガメ飼育体験を通じて、子どもたちの人間的な成長や、自分たちの住む地域を含めた郷土愛を育むこと、地域の繋がりを深めることを目指しています。



▲がんばって成長中!

Q1 「カレッタ」とは?
フランス語で「カメ」です。

Q2 活動を始めたきっかけは?

春野西小学校では20年以上ウミガメの飼育体験を行っていましたが、担当可能な職員の異動で中止するという話が出ました。しかし、児童のために続けてほしいという保護者の声や、水槽管理に詳しい方が地域に居たこともあり、今後も飼育体験を継続できるようにチームを立ち上げました。

Q3 子どもたちに変化はありましたか?

短期間ですが、担当学年みんなが貴重な体験を通して成長できたと思います。個々では、いつも遅刻をしていた児童が、カメの世話当番の日は朝早くから登校したり、カメをお世話することで級友への接し方が優しくなった児童が居ます。

Q4 今後の計画や目標は?

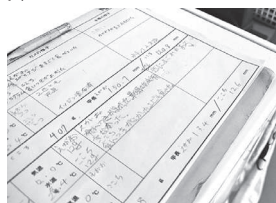
良好な飼育環境を維持しつつ、活動そのものを継続させていくことです。また4年生の児童だけでなく、その保護者にも飼育に関わってもらい、カメの話題で家庭内のコミュニケーションを高めることができれば、とも考えています。

Q5 活動するうえでの課題は?

カレッタの活動を継続してくれる後継者を探すことです。4年生になったらカメの飼育ができる!と楽しみにしている児童のためにも、後継者問題は一番の課題です。



▲ウミガメの赤ちゃんにさわったよ



▲4年生が毎日記録をつけました



▲丁寧に水槽に戻します

Q6 助成金の使い道は?

児童への学習会、飼育のアドバイスを行ってくれている大学教授への謝金や、水質管理のための機器類に使用しています。



▶また戻って来てね!

2024年度 助成団体 中間発表会



高知まちづくり部が動画を作ってくれました!

今回の発表会の様子を、高知まちづくり部（高知清掃隊）の山本さんが撮影・動画編集してくれました。ぜひ見てみて下さいね!

2025(令和7)年 1月19日(日)
高知市役所たかじょう庁舎6階 大会議室



A1 土佐の医療福祉に貢献し隊 街のバリアを知ろう、なくそう、考えよう



土佐リハビリテーションカレッジと高知健康科学大学の合同サークルです

親同士が悩みを共有できる場を提供します



C1 KIDSZOU(キッズぞう) 学んで交流する0歳~1歳児 親子向けイベント



C4 菜園場市民の会 菜園場商店街を市民の力で盛り上げる 『菜園場LIKEプロジェクト』

菜園場大好き!
商店街の活性化にがんばる!



誰ひとり取り残されない減災・防災活動

C3 こうち減災女子部 あなたもできる防災・減災



A 学生まちづくりコース 上限 5万円

A1 街のバリアを知ろう、なくそう、考えよう

土佐の医療福祉に貢献し隊

土佐リハビリテーションカレッジと高知健康科学大学の合同サークルで、街のバリアフリー調査を行っています。補装具を使用する方を対象に、外出時の課題や社会的孤立の実態を調査し、高知県庁の障害福祉課とも意見交換を予定しています。活動を通じて、タウンモビリティステーション「ふくねこ」やデイサービス施設と連携し、まちづくりへの貢献を目指しています。

- ・土佐のバリアフリー実現に貢献できている。
- ・行政の手の届かないところでの活動をありがとうございます。

提案 ・高知市のすべきことの一部を行っていると思うので、改良点は高知市に強く提案してほしいと思います。

C まちづくりはじめての一步コース 上限 10万円

C1 学んで交流する0歳~1歳児 親子向けイベント

KIDSZOU(キッズぞう)

0~1歳児の保護者向けに、育児に関する疑問を専門家が答えるイベントを企画しています。離乳食、保育園探し、家庭での事故防止、脳育遊び、絵本を活用した国際交流など、多彩なテーマで講座を開催し、親同士が悩みを共有できる場を提供しています。今後は「仕事と子育ての両立」や「0歳児・1歳児の防災」をテーマに、さらに充実した支援を目指しています。

- ・子育て世代のしんどさに寄り添ったイベントを企画されている。
- ・0~1歳児の育児は、母親が孤独を感じやすい時期なので良い取り組みだと思う。

提案 ・教育に関する専門家として幼稚園などもぜひご活用ください。
・参加者が気軽に(直接ではなくとも)継続的に質問できる仕組みが出来れば最高です。
・兄弟児を預かる託児所を設置するのはどうでしょうか。



親子の孤立のない居場所づくり



C5



NPOとして

子どもの居場所づくり

D2

はなまるキッズこうち

重度障がい児(者)やご家族のための
スポ・レク活動教室の充実



熱気球打合せ中です

熱気球体験をします!



仁ノ地域が元気になってきています!

D1



仁ノ八幡宮保存会

仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ、
まちを元気にしよう!

C4 菜園場商店街を市民の力で盛り上げる『菜園場LIKEプロジェクト』



菜園場市民の会

菜園場が好きで何かできないか思いを秘めているメンバーで、菜園場商店街の活性化を目指す団体です。「よさこい祭りだけは、なくしたらいかん!」という思いで、菜園場を盛り上げるうちわを作成しました。商店街の人がうちわを配ってくれたり、仲間が増えたり、商店街が一体となったと感じています。今後は、インスタグラムを活用して菜園場を訪れるきっかけをつくりたいと思っています。

と
こ
ろ
良
い

・活動を通して、地域のつながりが出来ているところが良いと思った
・実際に様々な人がうちわを使って、みんなが使いたくなるようなデザインでいいと思った。

質
問

・よさこい以外の活動は?
→よさこい祭りを軸にしつついろんなところから『やりたい』というお話が来ているため、現在何をやるのかを模索しています。

C3 あなたもできる防災・減災



こうち減災女子部

「守った命をつなぐ」ことをコンセプトに、誰ひとり取り残されない減災・防災活動を行う部活動です。防災・減災活動の発信や県内での防災活動のネットワーク作り、地域の女性防災リーダーの育成などを行っています。現在は、普通の生活に取り入れやすい防災・減災についての冊子の作製、地域イベントや子育て支援センターでの講座にも取り組んでいます。

と
こ
ろ
良
い

・“冊子”で活動に参加できなかった方にも、知識が共有されていくところに魅力を感じました。
・防災に興味を持ってもらう機会を増やすという面で、パックツキングやトイレ実験の活動は良いと思った。

質
問

・来年度以降の活動の展望は?
→一歩進んだ形でイベントもしながら、知識だけではなく避難所の開設などを地域の方とやっていけたらと思っています。

C5 子どもの居場所づくり

NPOとして

子どもとその保護者を対象に、孤立のない居場所づくりを目指します。ものづくり教室やおもちゃつきイベントを行い、子ども同士や親子同士の接点の場を生み出すことができました。色々な事情で計画に変更があり、思うように活動できなかった一方で、実施できたこともあったため、本来の目的に近づくことができたと思います。

と
こ
ろ
良
い

・体験を通じていろいろな人とかわることができるので、第三の居場所づくりにつながっているなと思いました。
・地域の課題に目を向けて、子ども達や親へのサポートは良いですね。

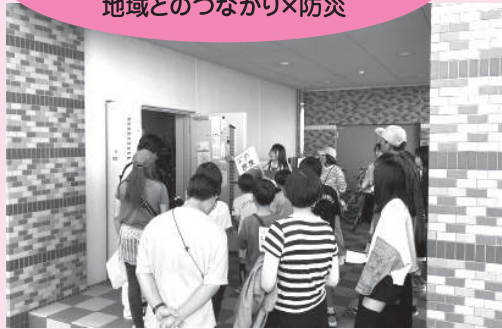
質
問

・平均して何人くらいイベントに参加されていましたか
平均25名です。
・子どもたちの意見等を教えてください
「来てよかった」「楽しかった」「またやりたい」という声が、学校に行けない子たちからあがっていました。

D3

Différent

地域とのつながり×防災



バッククッキング、講習会やります！

カポエイラを通して
地域が元気に！
子どもの居場所に！



D5

CICABK

(高知アフロブラジル文化コミュニティ)
「カポエイラ」で人づくり、まちづくり

防災を楽しく学ぼう！

D4

市民防災クッキング サークル「らっこ」

災害時でもあったかいご飯が食べられる



D まちづくり一歩前へコース

上限
30万円



D1 仁ノ八幡宮の祭りを盛り上げ、 まちを元気にしよう！

仁ノ八幡宮保存会

過疎と少子高齢化が進む仁ノ地域を活性化するために、神社でのお祭りや絵馬と短歌のコンテストなどを開き、仁ノ地域との関係人口を増やすことを目指しています。今年は夏祭りや秋祭りも無事開催でき、コンテストも多数の応募がありました。仁ノ地域が賑やかになり認知が広がりつつあることを感じています。

良いところ

- ・地道な活動をされてこられた成果が若い人を巻き込んで広がっているのは素晴らしいです。
- ・地域の学校の協力も得て活動を続けられること、素晴らしいです
- ・学生の応募が増えていることから、若い年代にもこの祭りが広がっていることが分かった。

提案

- ・ほかの地域においても「文化保存」は共通の課題であり、協力・情報共有の場を設けるのが良いのでは？

D3 地域とのつながり×防災



Différent

「地域とのつながり×防災」をテーマに、高知市での防災意識向上を目指す団体です。学校周辺から市全体へと活動範囲を広げ、防災イベントやブースの展示を通じて、幅広い世代に防災知識を伝えています。簡易トイレ実験や学校の備蓄倉庫探検などの体験型企画も実施し、学生の参加を増やしていきたいと思っています。今後は、防災に加え、土木・福祉・食の分野との連携もしていきます。

良いところ

- ・防災学習を学校探検や実験などで楽しく学べるようにしているところが良いと感じました。
- ・運営体制もしっかりしていて、参加人数も増えていて、しっかりしていると感心しました。
- ・生徒主体で行っていることが素晴らしいです。

提案

- ・「こくさいぼうさいいらっさーい」の活動をマニュアル化して継承やほかの高校への広がりを検討してはいかがでしょうか。

D2 重度障がい児(者)やご家族のための スポ・レク活動教室の充実



はなまるキッズこうち

重度・重複障がい児やご家族が、学校や施設以外で活動できる場所を作ることを目的に活動しています。

今回は屋外もしくは屋内での熱気球体験を行い、障がい児やそのご家族に非日常的な体験を楽しんでもらいたいと思います。開催日はまだ先ですが、障害者スポーツセンターや県スポーツ課などに興味を持ってもらえたので、繋がりが増えてきています。

良いところ

- ・協力団体が増えて、すごく魅力的なイベントですね。
- ・障がい者はどうしても遊んだりする場が少なくなるため素晴らしい。

質問

- ・雨天時の対応はどのような形になりますか？
→元々屋内での企画だったので、雨天時は屋内のみの開催になります

D4 災害時でもあったかいご飯が食べられる



市民防災クッキングサークル「らっこ」

災害時に温かい料理が食べられるバッククッキングの普及を目的として、毎月1回、イベントや児童館等に出向き、実演や試食会を継続しています。会場では、「予想外においしい」「簡単に作れるのにおどろいた」という声も上がっていました。今後もこの活動を継続しながら、調理講習会等の地域密着イベントの開催を増やしたいと思っています。

良いところ

- ・定期的にイベント開催をされていて、意欲が伝わります。
- ・チームワークが良く、しっかり計画して実施していて素晴らしい。

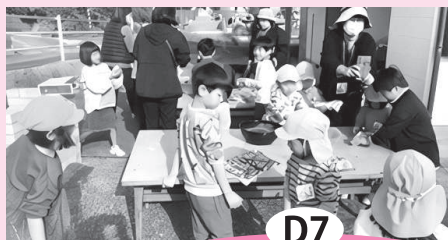
提案

- ・小中学校に参加を呼び掛けてみてはいかがでしょうか。
- ・レシピ動画の公開や地域ごとの備蓄に合わせたレシピ作成が出来れば最高です。



D6

一般社団法人 地域学校協働
家庭教育支援・世代間交流センター
もうひとつの大きな家族
世代間交流のできる居場所づくり



D7

ふらっと浦戸
うらど「風と音文化祭」



自慢のピザ窯です
10年後も元気な浦戸を!



D8

エンドオブライフ・ケア高知
～福祉・教育・文化の融合～
「歌と映像と語りで伝える命の意味を」

いろいろな人との
出会いを大切に

D5 「カポエイラ」で人づくり、まちづくり



CICABK(高知アフロブラジル文化コミュニティ)

みぎきコミュニティセンターで、週に2回カポエイラ教室を開催し、多くの人々の健康増進と地域の活性化を目指して活動しています。8月にブラジルの師範を招き行ったワークショップと初帯授与式では、本場のカポエイラに触れ、異文化交流も出来る貴重な経験となりました。後期は、楽器の制作会や他団体との交流会も予定しています。

良い
ユツ

- ・カポエイラを通して、地域の子どもの居場所がつくられている。地域交流の場となっているところも良い。
- ・高齢者と子どもの世代を越えた交流がいですね。
- ・じわじわと仲間が増え、プログラムも充実していきすぞい!

提
案

- ・地域のスポーツクラブとコラボすると広がりがあるかもしれませんね。

D7 うらど「風と音文化祭」



ふらっと浦戸

10年後も元気な浦戸を残すことを目的に、2022年に浦戸まちづくり連携協議会の一部としてスタートした団体です。現在、地域内外の人々が交流する場を提供するため、ピザ窯や壁画を活用したイベントやワークショップを開催しています。また、「風と音の文化祭」などを通じて、地域の賑わいづくりをしています。今後は、地域の若者とも連携し、さらに交流の輪を広げるとともに、SNSを活用して広報活動を強化していきます。

良い
ユツ

- ・もともと地域が持っている力で地域を活性化させようとしているところが良いと思った。
- ・地域をこのまま残したいという存在意義を地域ぐるみで共有していて素晴らしい
- 次世代につなげる大人たちの活動にエール!
- ・多彩な取り組みが来ていますね。

D6 世代間交流のできる居場所づくり



一般社団法人 地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センター もうひとつの大きな家族

私達は、地域福祉の拠点となる居場所づくりを目指して活動しています。助成金は主に子育て世代を中心とした親子体験イベントの開催費用に充てており、年間13回のイベントを企画・運営しています。活動を続けるうちに、まちづくりファンドの助成団体や保育園、企業ともコラボする機会が増え、活動の幅が広がっているのを実感しています。

良い
ユツ

- ・様々な団体と共にイベントを作っていくことで、人と人がつながり、活動の幅が広がっていることに魅力を感じます。
- ・多くの定期的なイベント開催に加え、新たなチャレンジをしていて素晴らしい。
- ・他団体とのコラボや地域の巻き込み方がとてもうまいと思います。
- ・活動の広がりに圧倒されます、すごい!

D8 ～福祉・教育・文化の融合～ 「歌と映像と語りで伝える命の意味を」



エンドオブライフ・ケア高知

高齢化や人口減少が進むなか、地域で支え合える社会づくりの必要性を感じて活動を続けています。人と一緒に過ごせる場所や誘い合える環境をつくるために、映画上映やコンサートの開催を企画しました。ひとつのイベントで現状がすぐには変わりませんが、同じ志を持った方との出会いを大切に、活動を積み重ねていくことが大切だと思っています。

良い
ユツ

- ・様々な人とのつながりがあり、それを活かした活動をしているのが良い。
- ・映画やコンサートを通して命について考えることができるということに魅力を感じた。
- ・作品や企画を主体にして、まちづくり交流のきっかけにする点が勉強になった。

中間発表で明らかになった課題から
最終活動に向けてのアドバイス

中間発表で評価された点 **スバラシイ!**

あとひと息!

- 多様な活動(プロジェクト)が実施されている
- 防災訓練や防災啓発活動、福祉活動、文化イベントなど、地域に役立つ取り組みが行われている
- 若者や住民の積極的な参加が見られた
- 子どもや高齢者を支える活動や地域の伝統文化を広める企画が注目され、地域住民の熱意が感じられた
- 身近な課題への取り組みへ地域の人々を巻き込んでいく動きが見られた
- 地域住民が自分たちの手で課題解決に向けたアイデアを実践している



- 1 活動目的を明確にし、活動計画を地域へ呼びかける・・・具体的な計画・プロジェクトを実行するための資金や人材、時間の確保が不十分
- 2 参加者が限られている・・・幅広い世代が参加できるような呼びかけ方法
・特定の世代や住民グループに偏り、地域全体を巻き込む仕組みが足りない
- 3 成果が測りにくい・・・活動制作の見える化(目標達成度を示す仕組み)
・成果をどう評価するかがはっきりしていない
例えば「防災イベントで何人参加したか」だけではなく、今後の活動において「防災意識がどれだけ高まったか」を考えることで活動計画や目標が明確にできる取り組みを考えていくことも持続的な活動に繋がります

●公開審査会を終えて

<p>●運営委員長 増田 和剛 高知中・高等学校</p>  <p>活動助成の年次計画に沿って進めてきた活動の進捗を振り返り、今後の課題や展望を明確にする機会となりました。活動発表を通じて得た発見や学び、参加団体の熱意と知恵の共有が地域発展につながることを願っています。</p>	<p>●副運営委員長 堀 洋子 公益社団法人高知県建築士会</p>  <p>22回目の中間発表会になりますが、発表後のポストイトに書く各団体さんへのメッセージが多く、他の団体さんへの関心の高さが伺えます。和気あいあいの雰囲気の中、各団体さんの交流の場にして行きたいと改めて思いました。</p>	<p>●運営委員 尾田 妃菜 高知工科大学 経済マネジメント学群</p>  <p>助成決定後から、努力を重ねて活動されている姿に感動しました。意見交流の時間では、活発な意見交換が行われ、団体の皆様同士が互いに高め合う様子が印象的でした。残りの活動も頑張ってくださいと思います。</p>
<p>●運営委員 佐竹 真紀 龍馬学園グループ 学校法人やまもも学園</p>  <p>今回は、誰かの助けになりたい!あの人を笑顔にしたい!と皆さんの持てる力を発揮する活動ばかりでした。その輪が広がり、アイデアが共有され、独自の取り組みが確立される素晴らしい高知市になるよう協力したいと改めて感じました。</p>	<p>●運営委員 高橋 鉄昭 高知市社会福祉協議会 土佐山健康福祉センター</p>  <p>今回は発表する団体が多く、持ち時間が少なかったため、団体の皆さんは物足りなさを感じたのではないのでしょうか。そのような中でも、皆さんの熱い思いは十分伝わってきました。問題点や変更する内容も多々あると思いますが、後半も事業の成果をあげられることに期待しています。</p>	<p>●運営委員 田辺 葵 高知工科大学 経済マネジメント学群</p>  <p>助成決定からの半年間、各団体の状況が気になっていましたが、中間発表で積極的な姿勢が多く見られ、とても嬉しく思いました。特に大学生目線として、高校生が学校の枠を超えて地域のために活動する姿や想いに感銘を受けました。残りの半年も頑張ってください。</p>
<p>●運営委員 宮地 貴嗣 ラ・ヴィータ宮地電機株式会社</p>  <p>各団体の発表に対して、たくさん「いいね!」が集まりました。概ね、よく活動されている印象を受けました。学生や若い方も巻き込み、お金のかからない告知方法を工夫されることが良いと思いました。</p>	<p>●運営委員 山本 直子 聖建築研究所/ギャラリー樹下の舎</p>  <p>「はじめの一步コース」から「一步前へコース」へ進んだ団体さんが、生き生きと発表される様子を目の当たりにし、活動を通して自信と手ごたえを感じているのだと嬉しく思いました。「たまごコース」で採択されたみなさんも参加されてはいかがでしょう。</p>	<p>●運営委員 吉本 怜 高知労働基準監督署</p>  <p>私が今回の中間発表会で、注目していた点は、『各団体が自分の団体の課題や問題点に向き合いながら活動しているか』です。活動期間や規模の大小、活動内容を問わず、それぞれのステップごとに向き合う、課題や問題点があるはず。その事を意識しながら、最終発表まで活動してほしいと思います。</p>

寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様の
まちづくり活動を支援する仕組みです。

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐(しゅつえん)された基金を毎年取り崩しながら助成しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活かせるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたします。



寄付に関するお問い合わせ・お申し込み

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当
TEL 088-871-2326 (直通)
〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

お問い合わせ

高知市民活動サポートセンター (月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00)
TEL 088-820-1540 〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階
E-mail info@kochi-machifun.org <https://www.kochi-saposen.net>

寄付をしていただき
ありがとうございます

株式会社
富士美装 様

BOOK OFF
フリークス 様

